



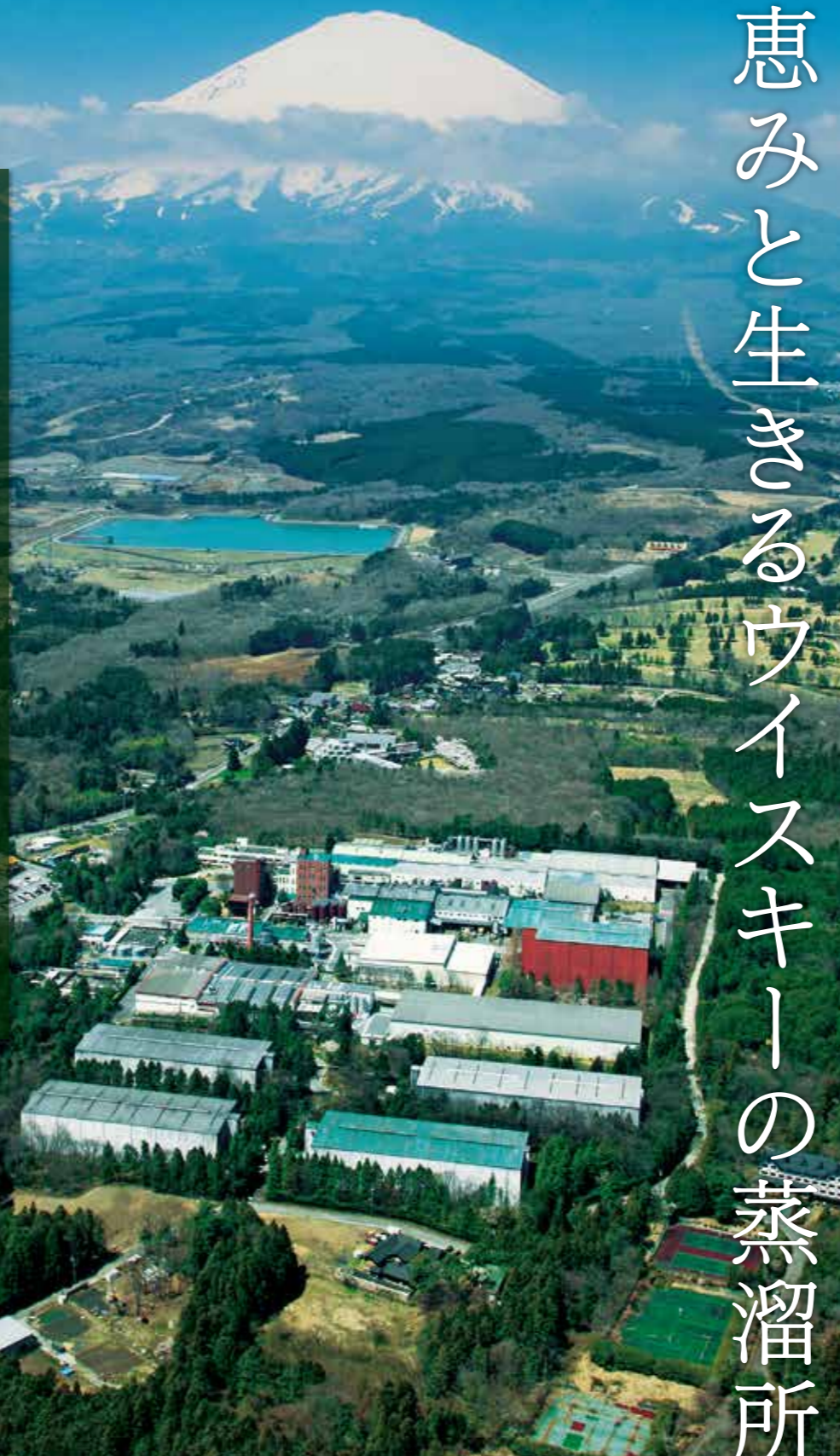
工場見学の受付を済ませれば自由に散策できる「キリン自然の森」。自然保護の観点から森の中の飲食と喫煙は禁止されている。



工場見学はシアターでウイスキー作りの基本を学ぶことから始まる。上映時間は約10分。スクリーンの全長は約12メートル。



巨大な銅製のヤカン「ポットスチル」は蒸溜所のシンボル。この中にウイスキーを入れて蒸留する。見学の最後にはウイスキーの試飲もできる。



敷地の約半分が豊かな森

富士の恵みと生きるウイスキーの蒸溜所

静岡景観

キリンディステイラリー(株)富士御殿場蒸溜所(御殿場市)

contents

- 01 [静岡景観] キリンディステイラリー(株) 富士御殿場蒸溜所
- 03 [知事対談] 生命科学の視点から考える、生きるとは、学ぶとは。 静岡県公立大学法人理事長、医学者 本庶 佑氏 対談
- 07 [ふじのくにの地域外交] 中国・浙江省編 30余年の交流が育んだ深い信頼関係と大きな将来性
- 09 [次代を拓く] パイオニクス株式会社
- 10 [花の都しずおか] スプレーギク
- 11 [県政特集] 総合コンベンション施設「プラサ ヴェルデ」がグランドオープン!
- 13 [アルカディア探訪] 浮島(沼津市)
- 14 [静岡の食] 仁科のヤリイカ

◎表紙の写真 千本浜公園から見る世界遺産「富士山」



JR沼津駅北口に、総合コンベンション施設「プラサ ヴェルデ」がグランドオープンした。同施設は沼津市の「千本松原」をデザインのコンセプトにしている。世界遺産「富士山」の麓、県東部の新たな交流拠点として、国内外につながっていくことが期待されている。

内閣総理大臣賞を受賞した森の中に静かに佇む工場

富士山の麓、海拔620メートル地点、年間平均気温13℃という冷涼な森の中に自然と調和しながら佇むウイスキー工場がある。キリンディステイラリー(株)富士御殿場蒸溜所だ。1973年の開設以来、高い構内緑化率を維持し、豊かな自然林、多様な生物と共存する姿は、通常の工場とは一線を画した新しい価値を創造している。平成23年度には長年の取り組みが評価され、緑化推進運動功労者として内閣総理大臣賞を受賞した。

同所の敷地は約16.9ha。その内、約7.8haが緑地として保全され、構内緑化率は約46%にも上る。緑地はクヌギなどが生い茂る自然林をできる限り残し、森を健康に保つための間伐や植樹なども行っている。工場見学者が散策できる「キリン自然の森」に配置されているテーブルやイス、さらには森の中のコンサートなどを開催するステージも間伐材でできている。

多種多様な生物を育む土壌となる自然林を敷地内に維持すること、食品工

場として高い衛生管理を求めることは、相反する要素になり得るため、他の工場では芝生等で構内緑化率を維持することが多い。しかし、同所は自然林にこだわる。手間やコストがかかっても自然に対し「謙虚でありたい」という思いがあるからだ。

信念を曲げない真摯な姿勢が上質なウイスキーを生み出す

同所は世界でも珍しい日英米の合弁洋酒メーカーとしてスタートしたが、現在はキリンビール(株)の100%子会社として、モルトウイスキー、グリーンウイスキーに加え、飲料水、チューハイなどの生産も行っている。時代の流れに応じ、新しい工場棟を増設する際は、苦渋の判断の末に、愛着のある施設を取り壊すことで構内緑化率を頑なに維持してきた。その真摯な姿勢は敷地内を見学するだけでも推し量ることができ

世界文化遺産の富士山と共存しながら上質なウイスキー作りを続けるキリンディステイラリー(株)富士御殿場蒸溜所。揺るぎない信念を持ち、時間と手間をかけて事業に取り組む姿勢は、これからの企業が歩むべき道を示唆している。

キリンディステイラリー(株) 富士御殿場蒸溜所

静岡県御殿場市柴怒田970
 電話: 0550-89-4909
 休館日: 月曜(祝日は開館、翌日休)
 工場見学は要予約

東名御殿場ICより車で20分
 工場見学者用の無料駐車場あり